





西陣の町(地蔵・格子・虫籠)

東日本の中高級の邸が堀川今出川付近にあった。地誌「京町鑑」によると、泉殿の下に舟橋を浮かべて栄華を尽くしたという。この辺りが「舟橋」と呼ばれるゆえんである。

師直から一世紀あまり経つたころ、山名宗全の邸がその近くにあった。今もなお邸跡がその名も山名町の一角に残る。西陣の名は、応仁の乱の際に、西陣の主将であった宗全が、本陣をおいたことに由来する。

西陣の名は、応仁の乱の際に、西陣の主将であった宗全が、本陣をおいたことに由来する。

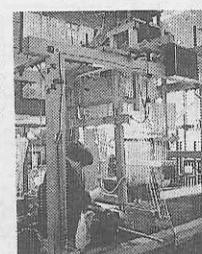
西陣は高級の織物で有名な町だが、王朝の昔既に織物司が置かれた伝統をもつ。応仁の乱や江戸時代の数度の大火にも立ち直る強靭な民力を備えていた。

都名所団会によると、織手と絹糸を引き上げる職人などで織機が描かれている。

それは江戸時代の優れた織機の先進技術を取り入れるなど、先見性と努力が西陣古い町だけに、西陣の道路

全国初のミニ新幹線が、東日本の山形新幹線が、七月一日営業を開始した。福島からの急勾配の板谷峠を越え、米沢、赤湯を経て山形まで八十七・一キロ、在来線奥羽本線の軌間を一〇六七ミリから新幹線用の一四三五ミリに拡幅し、新型のミニ二車両「つばさ」が東京～山形を一日十四往復(うち、往復は上野発着)する。所要時間は最短二時間二十七分となり、約四十分短縮された。

「つばさ」は六両編成。下り一番列車より最終列車は単独運転だが、他の十三往復



西陣織会館では手機の実演も

南北朝時代、足利尊氏の執事高師直の邸が堀川今出川付近にあった。地誌「京町鑑」によると、泉殿の下に舟橋を

浮かべて栄華を尽くしたとい

う。この辺りが「舟橋」と呼

ばれるゆえんである。

師直から一世紀あまり経つたころ、山名宗全の邸がその

近くにあった。今もなお邸跡

がその名も山名町の一角に残る。西陣の名は、応仁の乱の際に、西陣の主将であった宗全

が、本陣をおいたことに由来する。

西陣の名は、応仁の乱の際に、西陣の主将であった宗全

が、本陣をおいたことに由来する。

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免れた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免れた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免れた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免めた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免めた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免めた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免めた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免めた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免めた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備

えていた。

都名所団会によると、織手

と絹糸を引き上げる職人などで

織機が描かれている。

史料室の「法隆寺壁画」の織

縦倒される。戦火を免めた本

館ができる。昭和五十一年には

伝統産業西陣織をPRする

西陣は高級の織物で有名な

町だが、王朝の昔既に織物司

が置かれた伝統をもつ。応仁

の乱や江戸時代の数度の大火

にも立ち直る強靭な民力を備